



平成 23 年 8 月 8 日

各 位

上場会社名 マブチモーター株式会社  
代表者 代表取締役社長 亀井慎二  
(コード番号 6592 東証第1部)  
問合せ先 取締役管理本部長 大越博雄  
(TEL. 047-710-1127)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 2 月 15 日に公表しました平成 23 年 12 月期（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の第 2 四半期（累計）連結業績および通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

平成 23 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 41,400	百万円 2,800	百万円 3,400	百万円 2,900	円 銭 82.77
今回修正予想(B)	38,800	1,800	3,200	2,200	62.79
増減額(B-A)	△2,600	△1,000	△200	△700	
増減率(%)	△6.3	△35.7	△5.9	△24.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 12 月期第 2 四半期)	41,787	3,793	4,442	3,183	90.85

平成 23 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	88,000	7,000	8,400	6,500	185.52
今回修正予想(B)	82,500	3,500	5,000	3,300	94.19
増減額(B-A)	△5,500	△3,500	△3,400	△3,200	
増減率(%)	△6.3	△50.0	△40.5	△49.2	
(ご参考) 前期実績(平成 22 年 12 月期)	82,752	6,624	7,587	5,260	150.14

平成 23 年 12 月期第 1 四半期連結決算短信（平成 23 年 4 月 28 日発表）において、東日本大震災の影響が販売先での生産調整や、国際的な物流面での停滞などに及ぶことが想定されるものの、不透明要素が多く、見通しを算定する事が困難な状況にあったため、当期業績予想（平成 23 年 2 月 15 日発表）を据え置き、引き続き精査したうえで決定・公表することとしておりました。その後、大震災による販売需要への影響に加えて、市況品の相場動向や円高基調で推移している為替動向および 4 月以降に見られるレアアース価格の高騰などについて、情報の収集に努めるとともに外部環境の見極めを慎重に進めてまいりました結果、当期業績への重大な影響が見込まれることとなりましたので、お知らせ致します。

#### （1） 第 2 四半期（累計）連結業績予想修正の理由

第 2 四半期累計期間の売上高は、東日本大震災により、主力である自動車電装機器市場への売上が日本車向けを中心に減少したことに加えて、音響・映像機器、光学・精密機器、家電機器・工具・玩具市場の、一部商品において市中在庫の調整局面が続いたことで、新興国販売が低調に推移しており、前回予想を 6.3% 下回る 388 億円となる見通しです。

利益面につきましては、予想販売数量の見直しと当初想定を上回る市況品等の価格上昇から、営業利益は前回予想を 35.7% 下回る 18 億円となる見通しです。また、為替差益やその他の営業外収益の計上が計画を上回ることから経常利益は前回予想を 5.9% 下回る 32 億円、四半期純利益は、前回予想を 24.1% 下回る 22 億円となる見通しです。

#### （2） 通期連結業績予想修正の理由

通期の売上高は、主力である自動車電装機器市場において、重点戦略商品のパワーウインドウ、パワーシートは好調に推移しておりますが、震災によるサプライチェーン寸断の影響が未だに残っており、他の主要な用途の上期までの需要減が今後どこまで持ち直すか不透明な状況にあります。その他の市場におきましても、年末商戦向け需要増が当初見込みを下回ることから、前回予想を 6.3% 下回る 825 億円となる見通しです。

利益面につきましては、これまでの販売動向や年末商戦の見直し等をもとに予想販売数量を見直し、さらに原材料価格の高騰および為替相場が円高に推移している影響を見直した結果、営業利益は前回予想を 50% 下回る 35 億円、経常利益は前回予想を 40.5% 下回る 50 億円、当期純利益は前回予想を 49.2% 下回る 33 億円となる見通しです。特に、主要部材である銅線等に影響する銅相場の上昇と一部の製品において使用しているマグネット原料であるレアアースの大幅な上昇を織り込みました。なお、下期の為替は、当初下期予想に比べて 2 円の円高となる 80 円に見直しております。

なお、年間の配当予想につきましては、当初予想（1 株当たり 100 円）からの変更はございません。

注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

以 上